

2015年3月期第2四半期決算説明会資料 ～中期経営計画「New Challenge2016」の進捗について～

2014年12月2日
稲畑産業株式会社
代表取締役社長
稲畑 勝太郎

稲畑産業とは、



稲畑染料店(京都・西陣)

1. 創業1890年

1890年 京都において、稲畑染料店として発足
その後、ケミカル分野を中心に事業を拡大

2. グローバルに複合展開する商社

世界18カ国に60余拠点を展開
市場開発、製造加工、物流、ファイナンス等の機能
商品やマーケットの専門知識・ノウハウに基づく企画・提案



3. 5つの事業分野

現在、情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂、住環境の5つの分野で事業を展開

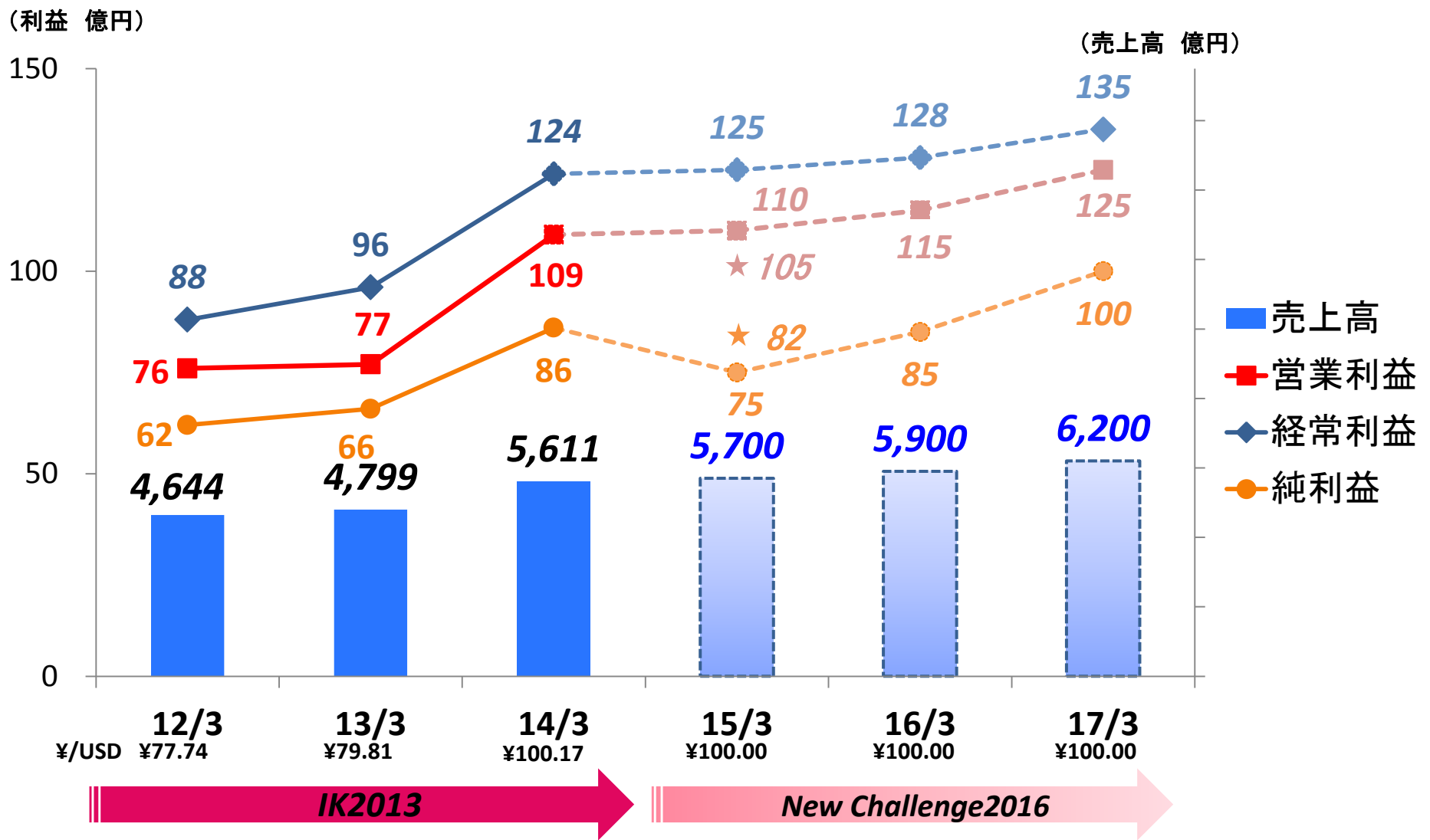


中期経営計画目標(2017年3月期)

売上高	: 6,200億円
営業利益	: 125億円
経常利益	: 135億円
純利益	: 100億円
ROE	: 8.2%
ネットD/Eレシオ	: 0.45倍以下(※)
自己資本比率	: 38.0%
想定為替レート	: 1USD=100円

(※) ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

「New Challenge2016」 3力年定量目標



(注)各期の目標は、2014年5月に策定した計画値。★は、2014年11月6日公表の修正値。
 14/3期の純利益86億円は、関係会社売却益11億円を含む。

- ✓ 情報電子事業の主力の液晶事業において、北東アジアで成長が鈍化
- ✓ 合成樹脂事業は車両、OAなど全般的に国内外とも好調に推移
- ✓ 第2四半期業績を踏まえ、通期の営業利益を下方修正、一方当期純利益を上方修正

(億円)	2015年3月期第2四半期				
	15/3期 2Q実績 (A)	通期見通し (B)	進捗率 (A/B)%	中期計画 初年度 目標(C)	進捗率 (A/C)%
売上高	2,777	5,700	48.7%	5,700	48.7%
営業利益	51	105	48.8%	110	46.6%
経常利益	69	125	55.3%	125	55.3%
当期純利益	50	82	62.0%	75	67.8%
ネットD/Eレシオ	0.46	—	—	0.48	—
自己資本比率	38.2%	—	—	36.0%	—
為替レート(米ドル)	103.01円	103.01円	—	100.00円	—

(注)通期見通しは2014年11月6日公表の修正値。

1. 海外事業の更なる拡大と深化

- 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化
- アジア以外の新興国への取り組みの拡大
- 非日系企業との取引の拡大

2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力

- 自動車分野、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野への注力
- 新規取引先・新規商材を拡大し、収益の多様化を着実に進める

3. グローバル経営のインフラ整備・拡充

- グローバル経営を支えるリスク管理・経営管理手法の整備
- 情報システム、業務プロセスのグローバルな標準化の推進

4. 将来の成長に向けた投資の実施

- 今後3年間の投資枠を100億円に設定

5. 資金効率・資産効率の更なる追求と財務体質の強化

6. グローバル人材の継続的な育成

1. 海外事業の更なる拡大と深化①

合成樹脂事業の強化

樹脂コンパウンド製造事業を強みとして、合成樹脂関連の販売を更に強化

顧客のグローバル化、現地調達化の動きに対応し、
ワールドワイドに樹脂コンパウンドを供給できる体制の構築を目指す
樹脂コンパウンド事業により他商社との差別化を図り、樹脂の商社ビジネスを拡大



1. 海外事業の更なる拡大と深化②

● 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化

フィリピンにおいて樹脂コンパウンド製造拠点を設立

2014年4月より試作、7月より一部商業生産を開始

OA向けをターゲットに稲畑フィリピン(商社)と連携してビジネスを拡大



会社名 : IK PLASTIC COMPOUND PHILS. INC.

生産能力 : 10,800トン/年

所在地 : フィリピン ラグナ州



● アジア以外の新興国への取り組みの拡大

メキシコにおいて日系で最初のエンプラ・コンパウンド製造拠点を設立

2013年11月に稼働開始、2014年9月より量産を開始

自動車向けをターゲットに稲畑メキシコ(商社)と連携してビジネスを拡大



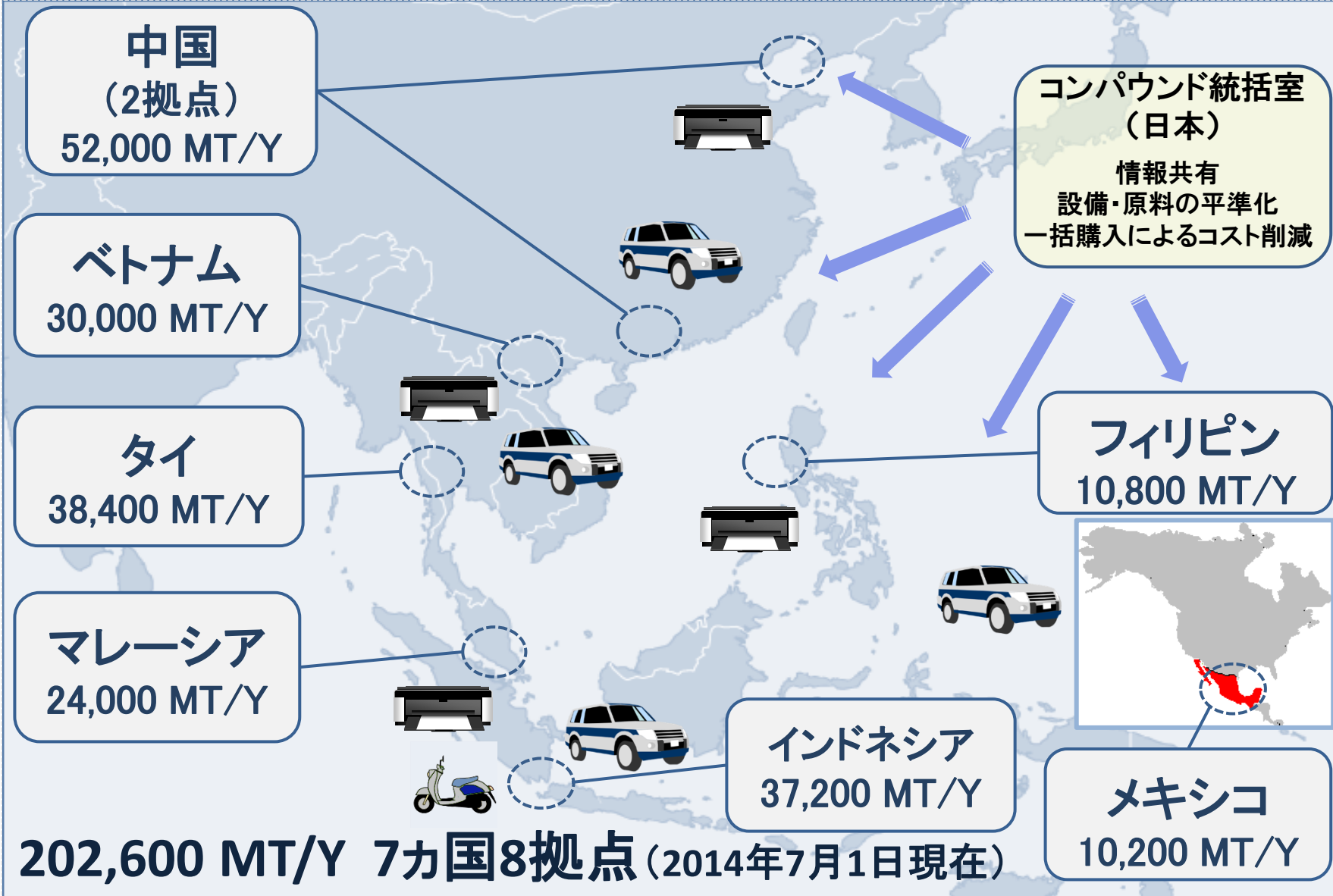
会社名 : IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.

生産能力 : 10,200トン/年

所在地 : メキシコ中央部グアナフアト州シラオ



樹脂コンパウンドの年間生産能力(ワールドワイド)

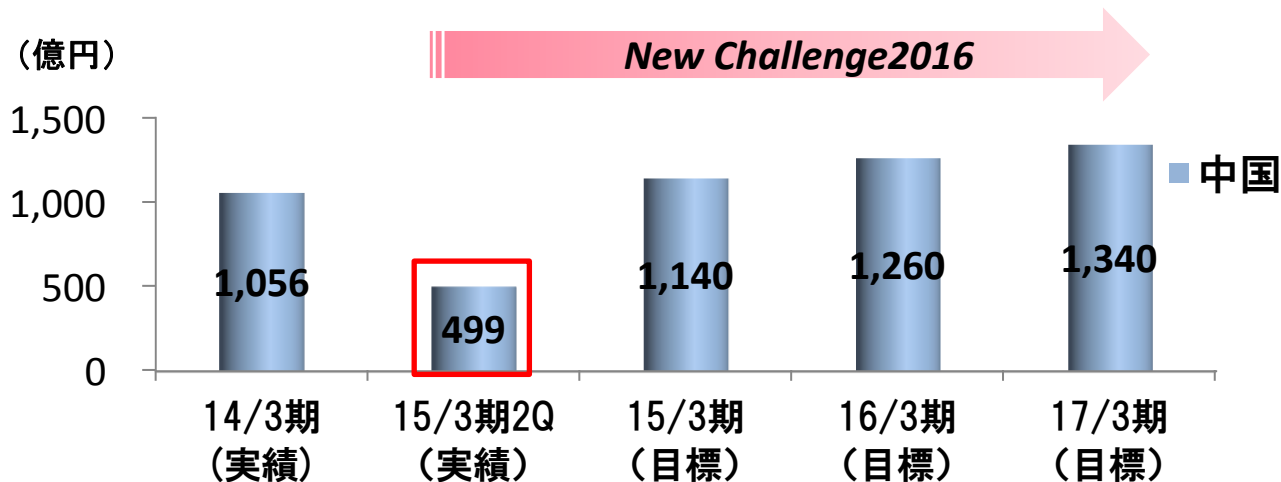


1. 海外事業の更なる拡大と深化③

● 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化 中国に対する取り組み

- 中期計画： ✓ 経済成長のテンポは安定期に入りつつあるが、一大消費市場であり重要市場と位置付け、引き続きビジネス拡大に注力
 ✓ 自動車関連の合成樹脂や化学品、現地パネルメーカー向け液晶関連部材の拡販などを進める
- 15/3期2Q： ✓ 合成樹脂事業は欧米自動車向けや環境関連製品が順調に伸長
 ✓ 情報電子事業は液晶関連が減少

◆ 中国での売上高実績と中計目標（単純合算ベース）



(注)各期の目標は、2014年5月に策定した計画値。

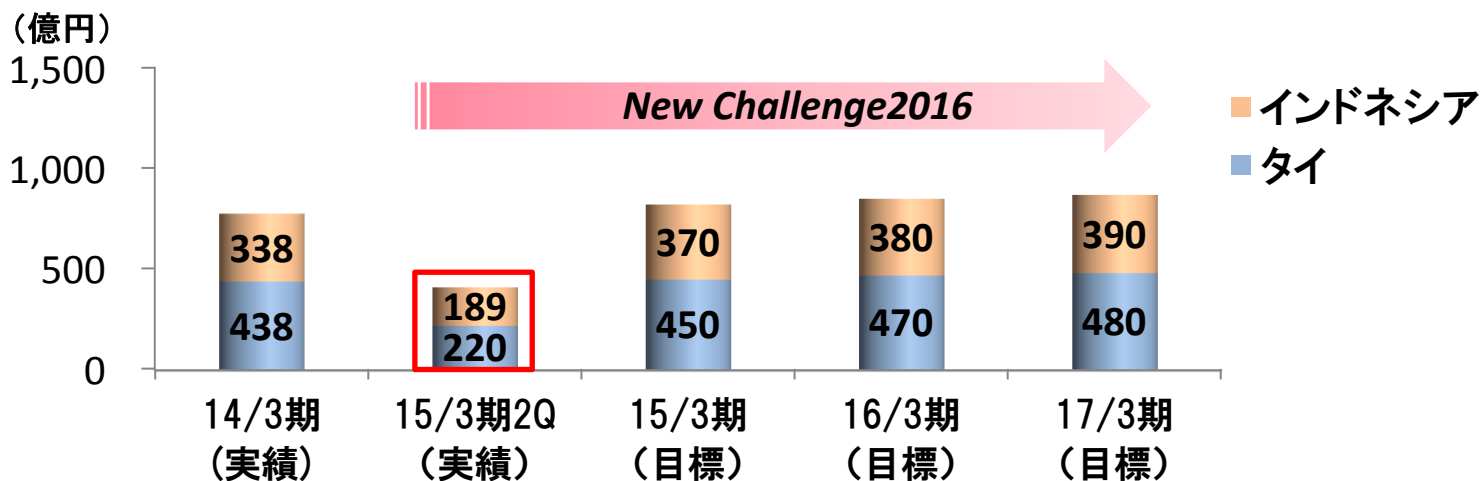
1. 海外事業の更なる拡大と深化④

● 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化 タイ・インドネシアに対する取り組み

中期計画： ✓ 2輪、4輪の車両関連の重要市場であり、合成樹脂を中心に
拡販を進める

15/3期2Q： ✓ タイでは自動車産業の停滞の影響を家電・電子関連でカバー
✓ インドネシアでは、車両と飲料ボトル用の樹脂の販売が好調

◆タイ・インドネシアでの売上高実績と中計目標（単純合算ベース）



(注)各期の目標は、2014年5月に策定した計画値。

1. 海外事業の更なる拡大と深化⑤

・ 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化 ベトナムに対する取り組み

ベトナムにおいてポリエチレン(PE)製の袋・フィルムの製造拠点を設立

タイでレジ袋などPE製袋・フィルムを製造する子会社、Apple Film Co.,Ltd.の第二工場として、ベトナムに新会社を設立

✓ 顧客の「脱中国サプライヤー」の動きに対応

✓ タイでは高付加価値品、ベトナムでは労働集約型の汎用品を生産

2014年9月より営業生産開始、10月より輸出スタート

会社名 : Apple Film Da Nang Co., Ltd.

設立 : 2013年9月

事業内容 : ポリエチレン製袋(ゴミ袋、規格袋)の製造、販売

生産能力 : 当初2,400トン/年

所在地 : ベトナム ダナン市

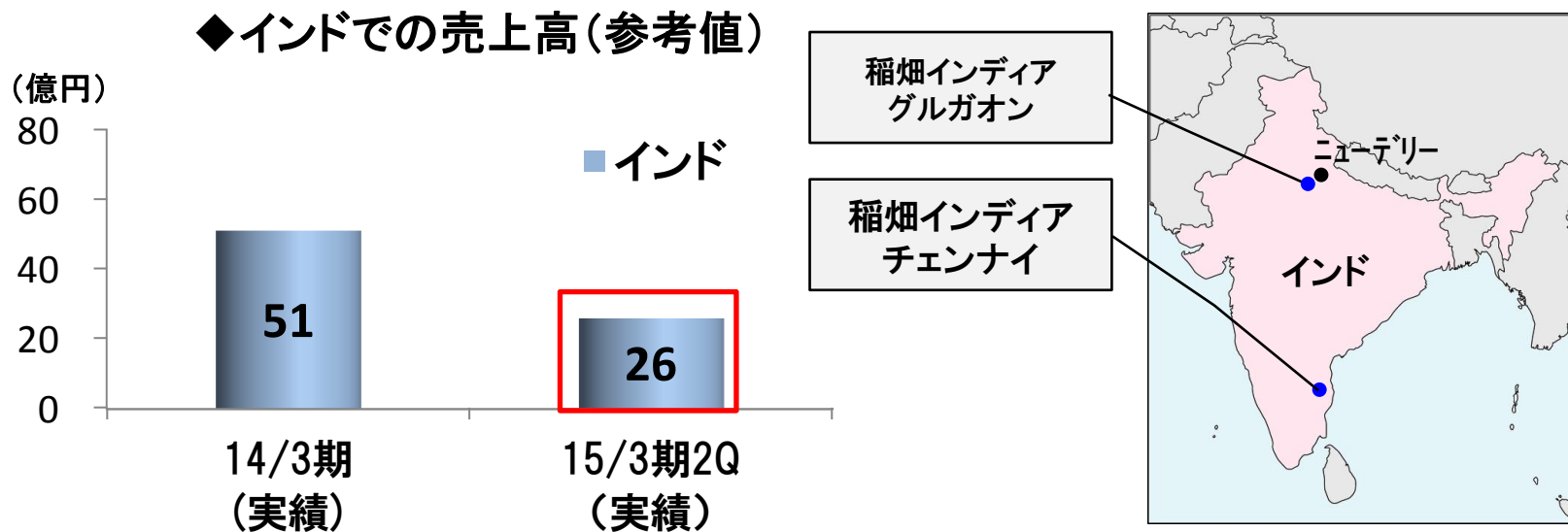


1. 海外事業の更なる拡大と深化⑥

・ 中核であるアジア事業の更なる拡大と深化 インドに対する取り組み

- 中期計画： ✓ 経済成長の減速感は抜けきらないものの、5月の新政権発足により経済は安定化の方向へ
- ✓ 選択と集中により、成長を急がず長期にビジネスを育成
- ✓ 合成樹脂、石油化学品、ジェネリック医薬関連等に注力

15/3期2Q： ✓ 為替の安定化などの好影響により順調に進捗



(注) 売上高は、在庫販売の売上高にコミッションベースの取引のみなし売上高(マージン率より算出)を合計した参考値です。 15

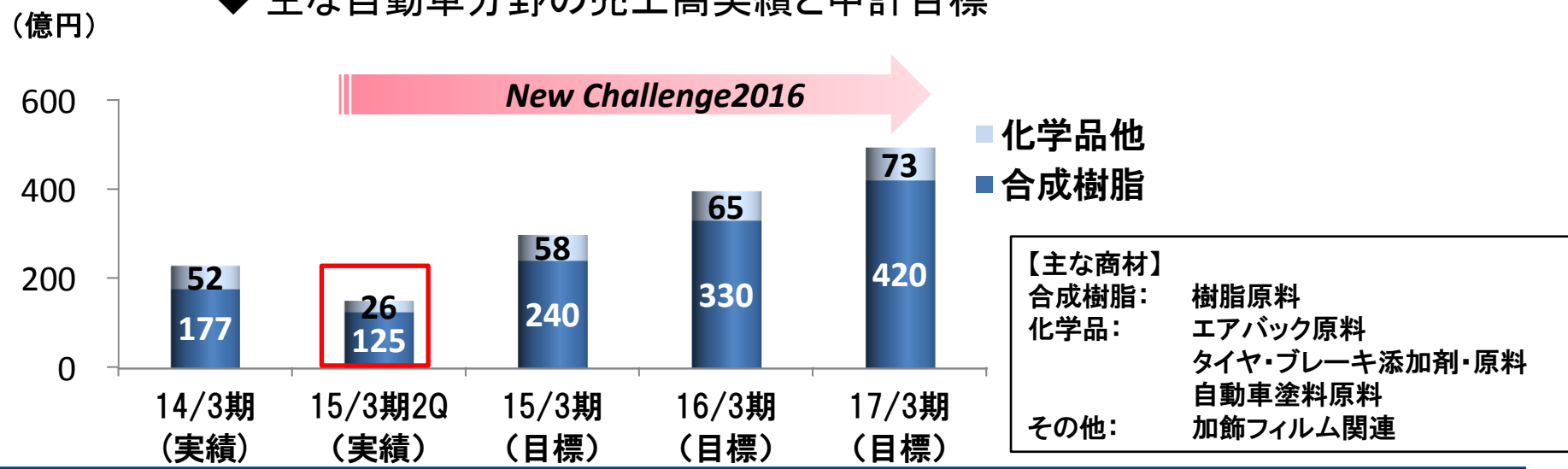
2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力① **IK**

自動車分野、環境・エネルギー分野、ライフサイエンス分野への注力 自動車分野への取り組み

- 中期計画：
- ✓ 樹脂原料を主力商材として、グローバルユーザー向けを中心に拡販
 - ✓ 中国、タイ、インドネシア、メキシコなどに注力
 - ✓ 加飾フィルムや電気自動車関連部材原料などの取り組みも進める

15/3期2Q： ✓ タイの自動車業界の低迷などの影響はあるものの、全体では順調に推移

◆ 主な自動車分野の売上高実績と中計目標

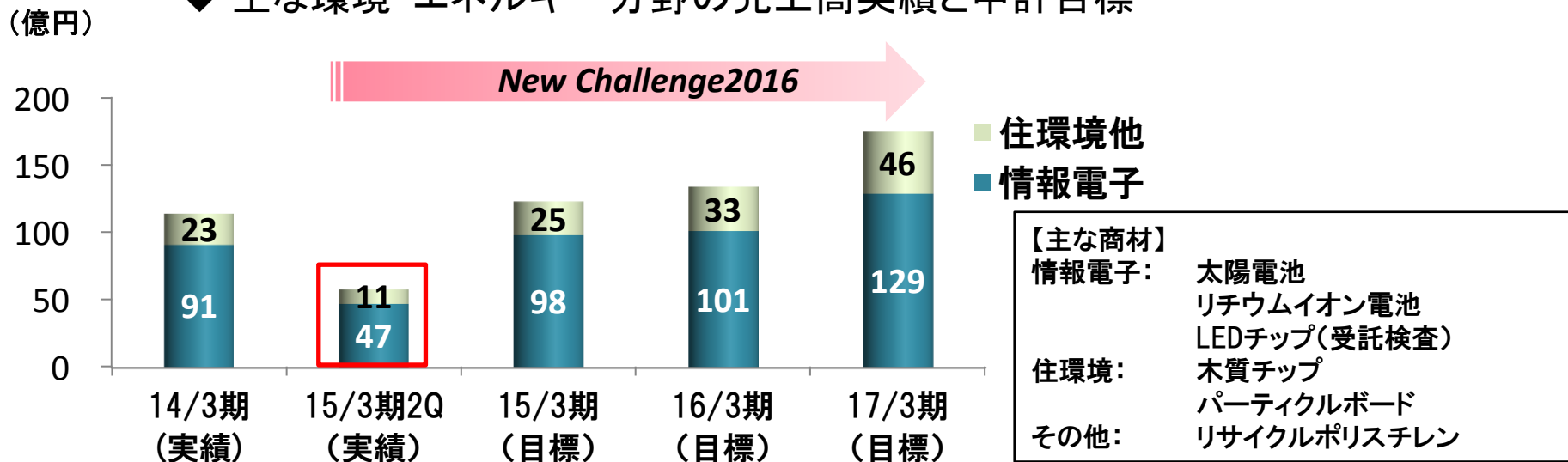


2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力② **IK**

環境・エネルギー分野への取り組み

- 中期計画:
- ✓ 創エネルギー(太陽電池)、蓄エネルギー(リチウムイオン電池)に注力
 - ✓ LED関連は受託検査が主体、LED用材料の販売を進める
 - ✓ 住環境事業では、木質バイオマス発電所向け木質チップや、廃材等のリサイクル商品「パーティクルボード」の拡販を進める
- 15/3期2Q:
- ✓ 太陽電池は、メガソーラー向けやカーポート向けにソーラーモジュール等を販売、2Q時点の目標を上回る
 - ✓ リチウムイオン電池は、電池試作・評価ビジネスと韓国向け部材の販売が主体だが、市場の拡大に比べ、遅れ気味

◆ 主な環境・エネルギー分野の売上高実績と中計目標



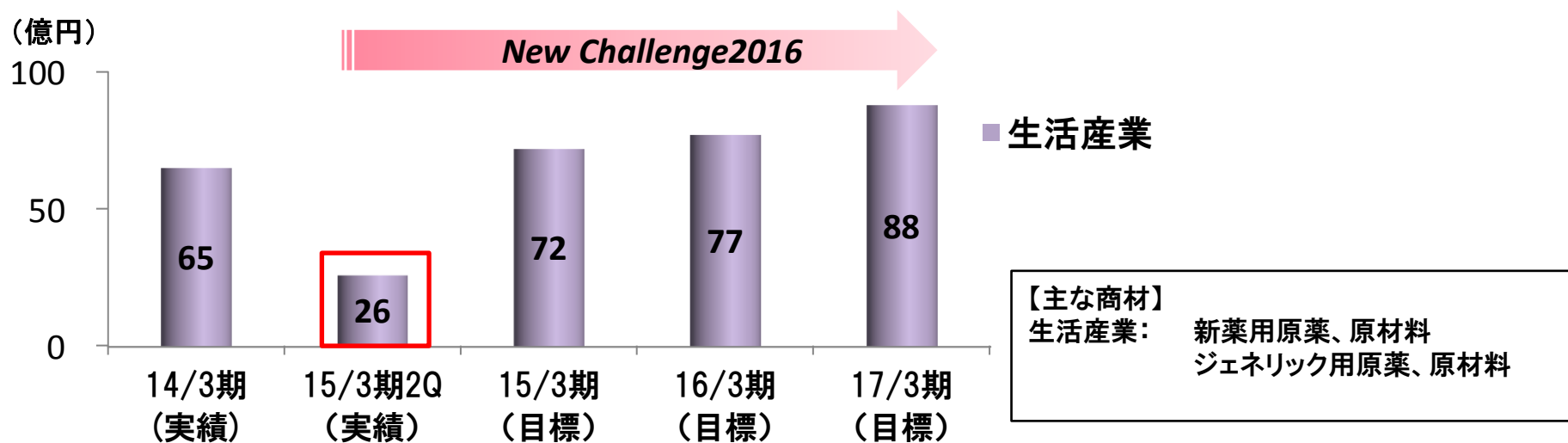
2. 成長が見込める市場・未開拓分野への注力③ **IK**

ライフサイエンス分野への取り組み

- 中期計画： ✓ ジェネリック医薬品原料の拡販に注力
 ✓ 海外は稲畑フランス(商社)と現地の医薬品製造子会社を中心に展開
 ✓ 再生医療や抗体医薬品など最先端医療分野への参入も視野に
 ✓ 市場拡大が見込まれるサプリメント関連ビジネスにも参入

15/3期2Q: ✓ 新薬向けのプロジェクト中止の影響等により目標未達

◆ 主なライフサイエンス分野の売上高実績と中計目標



4. 将来の成長に向けた投資の実施

今後3年間の投資枠を100億円に設定

2015年3月期第2四半期の投資実施状況 13億円

【内訳】

合成樹脂8億円、化学品1億円、生活産業1億円 他

【主な投資実績】

コンパウンド事業 資本・設備投資(3.6億円)

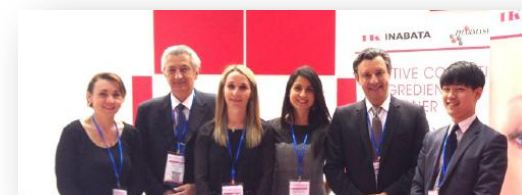
プラスチックフィルム事業 資本・設備投資(3.0億円)

塗料関連事業 設備投資(1.3億円)

6. グローバル人材の継続的な育成

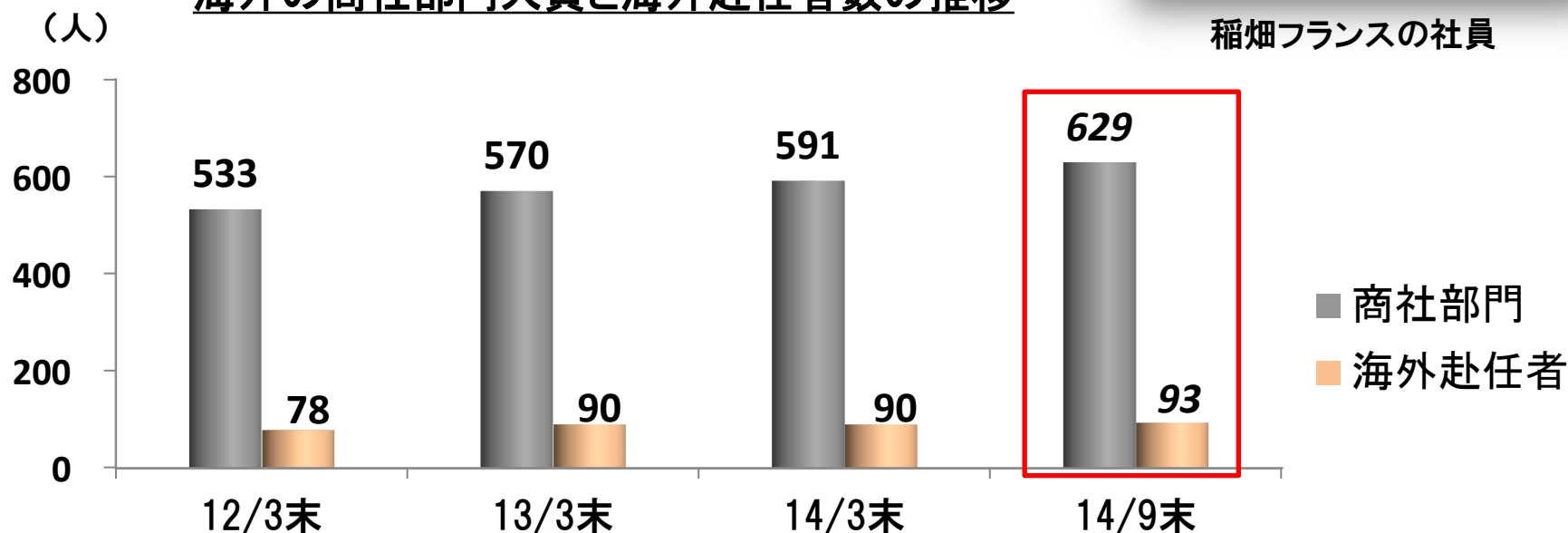
人員の充実と共に、質的な面での強化、育成を加速

- ✓ 日本を含めたナショナルスタッフ同士の交流促進
- ✓ Global Staff Meetingの継続的な開催



稲畑フランスの社員

海外の商社部門人員と海外赴任者数の推移



(注)各海外赴任者数は、翌月の1日現在の人数

2015年3月期より株主への利益還元の方針を変更

配当性向 20～30%目安 → 総還元性向 30～35%目安

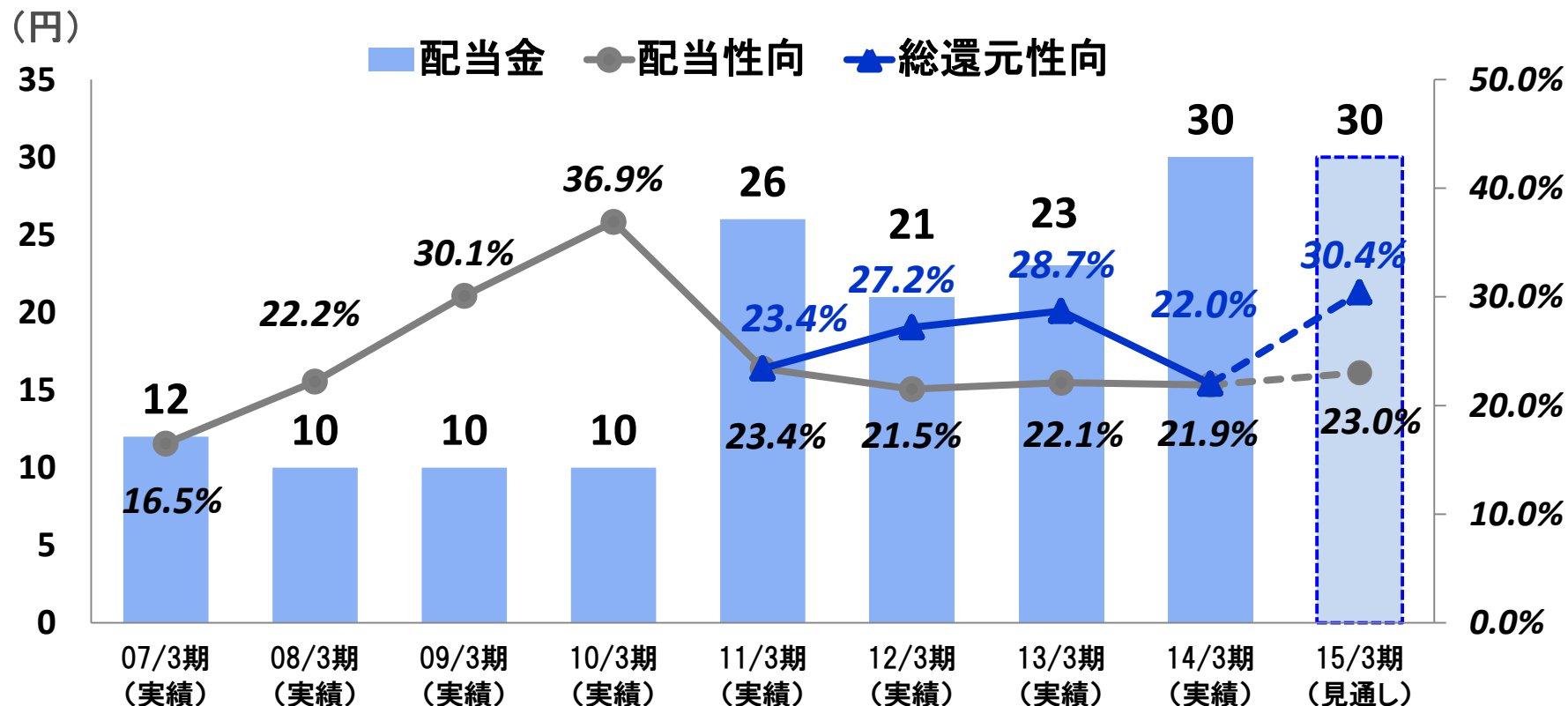
基準に自己株式取得額を織り込むことで、より明確に利益還元を実施

総還元性向(%) = (配当金額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益 × 100

◆ 2015年3月期第2四半期の自己株式取得実施内容

- 取得株式数 600,000株
- 株式取得価額 604,514,500円
- 取得期間 2014年8月7日～8月15日

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



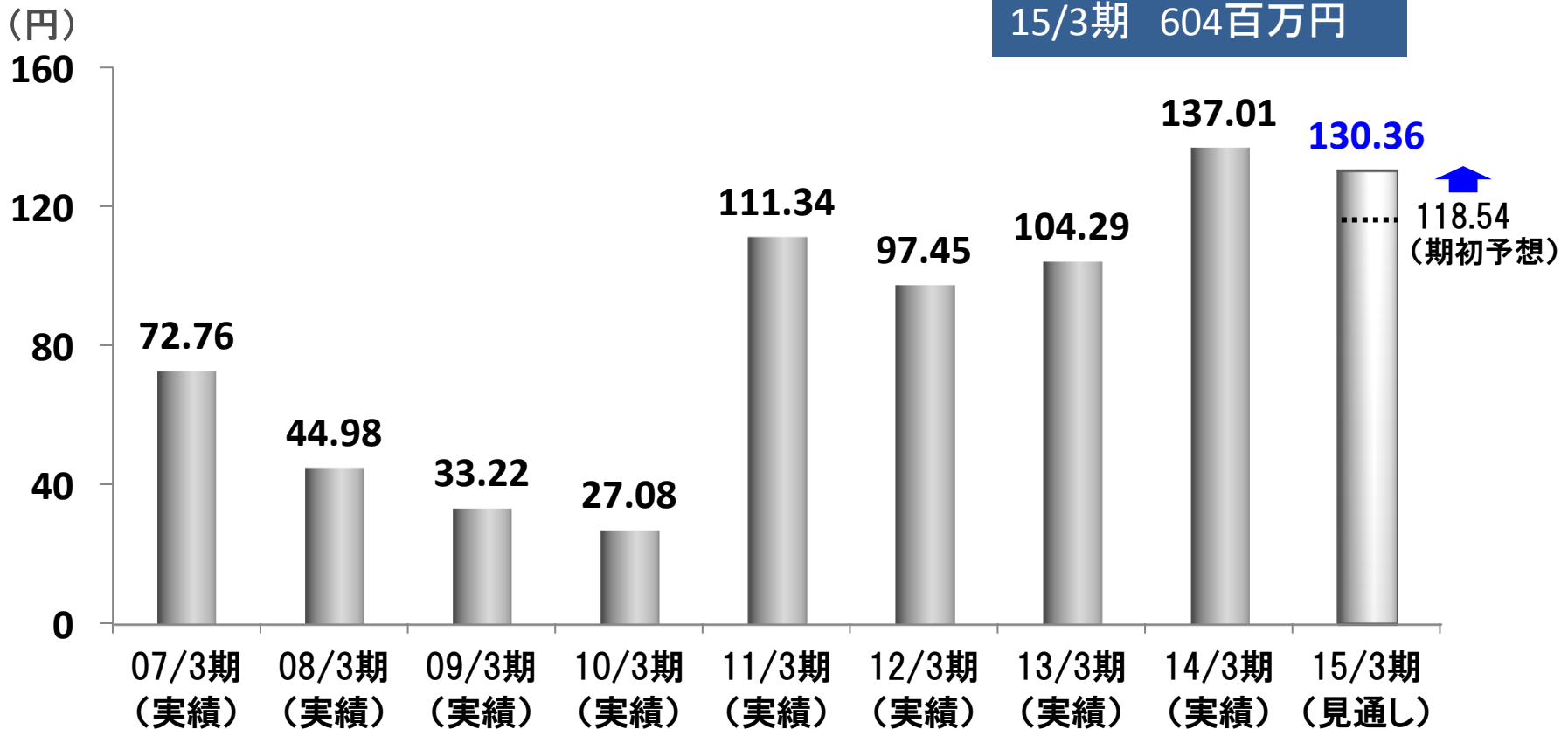
自己株式取得価額 (百万円)						355	439		604
----------------	--	--	--	--	--	-----	-----	--	-----

(注)11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

1株当たりの当期純利益推移(EPS)

自己株式取得の実施と当期純利益見通しの修正により
15/3期のEPS通期見通しも上方修正

自己株式取得の実施
12/3期 355百万円
13/3期 439百万円
15/3期 604百万円

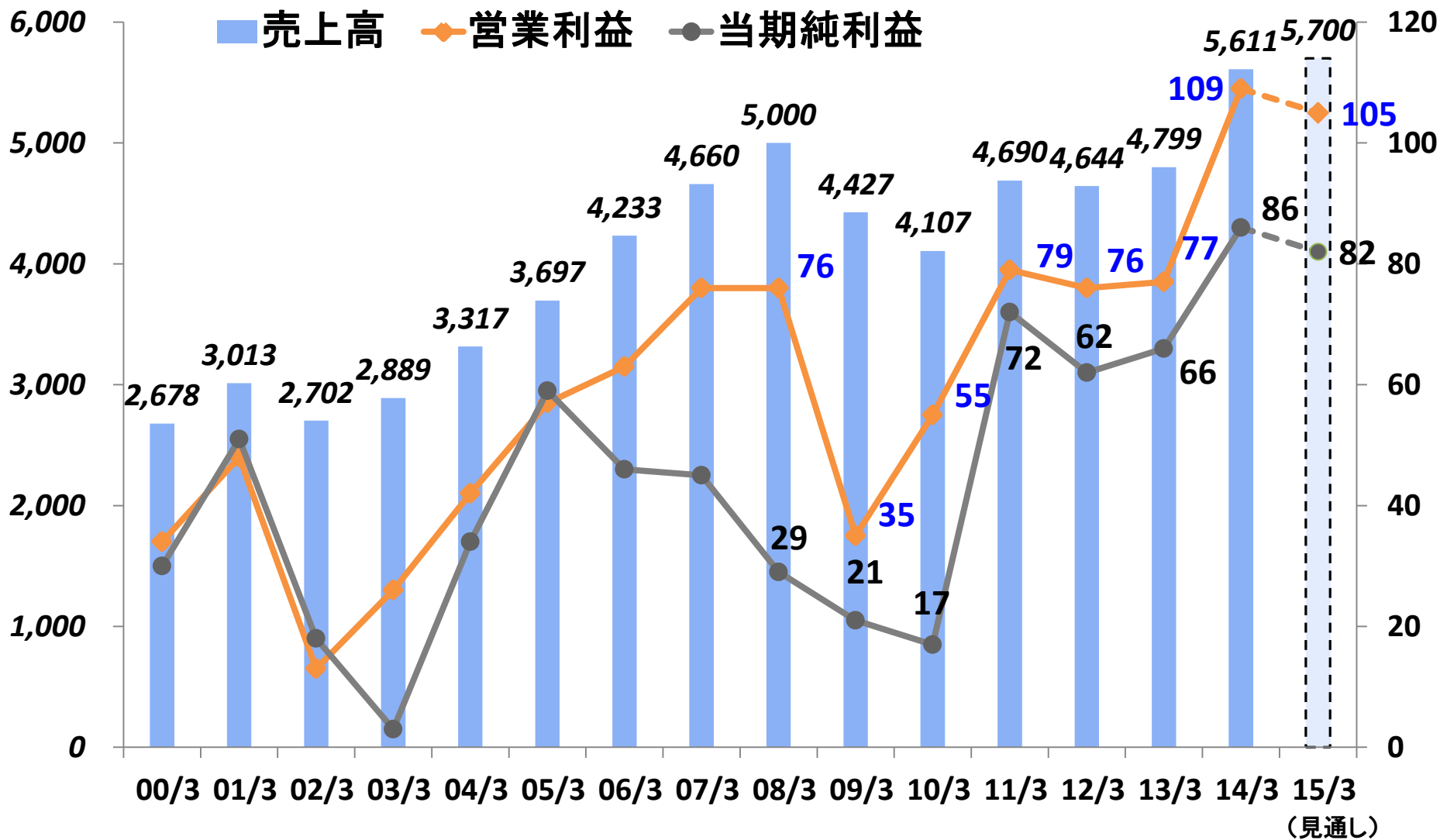


(注)15/3期見通しは、2014年11月6日公表の修正値より算出。

過去15年の連結業績の推移

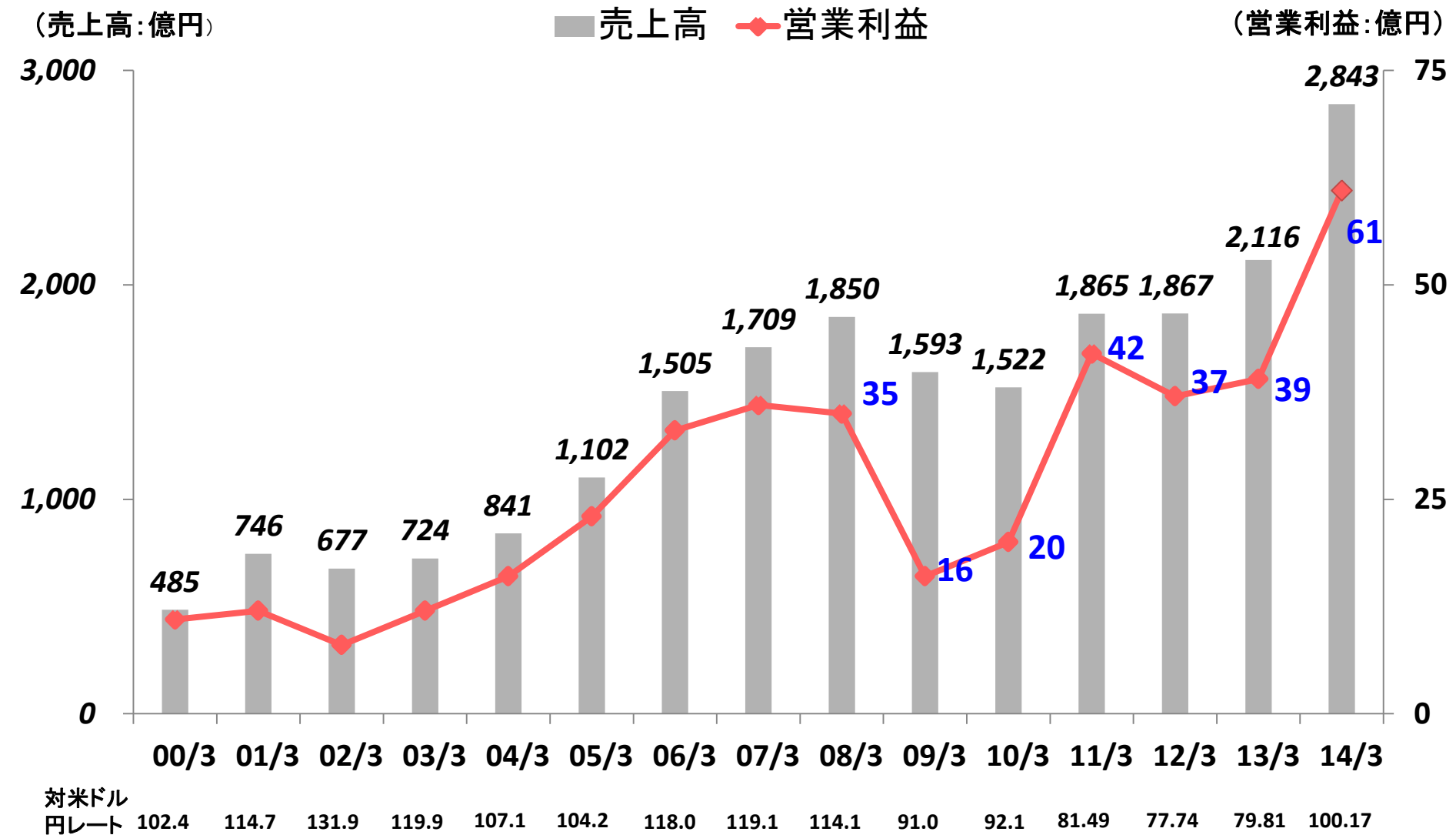
(売上高:億円)

(利益:億円)

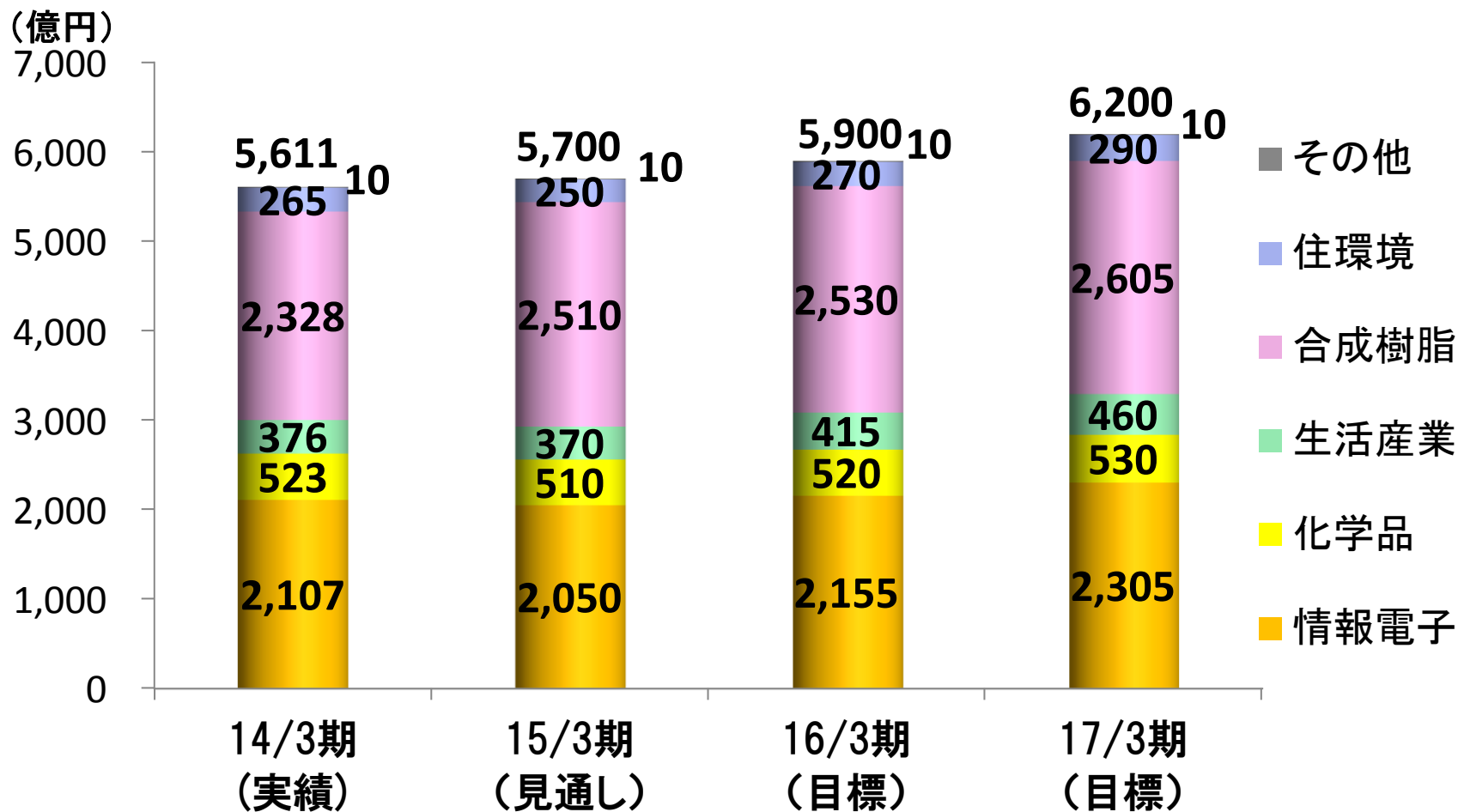


(注)15/3期見通しは、2014年11月6日公表の修正値。

過去15年の海外の売上高と営業利益の推移



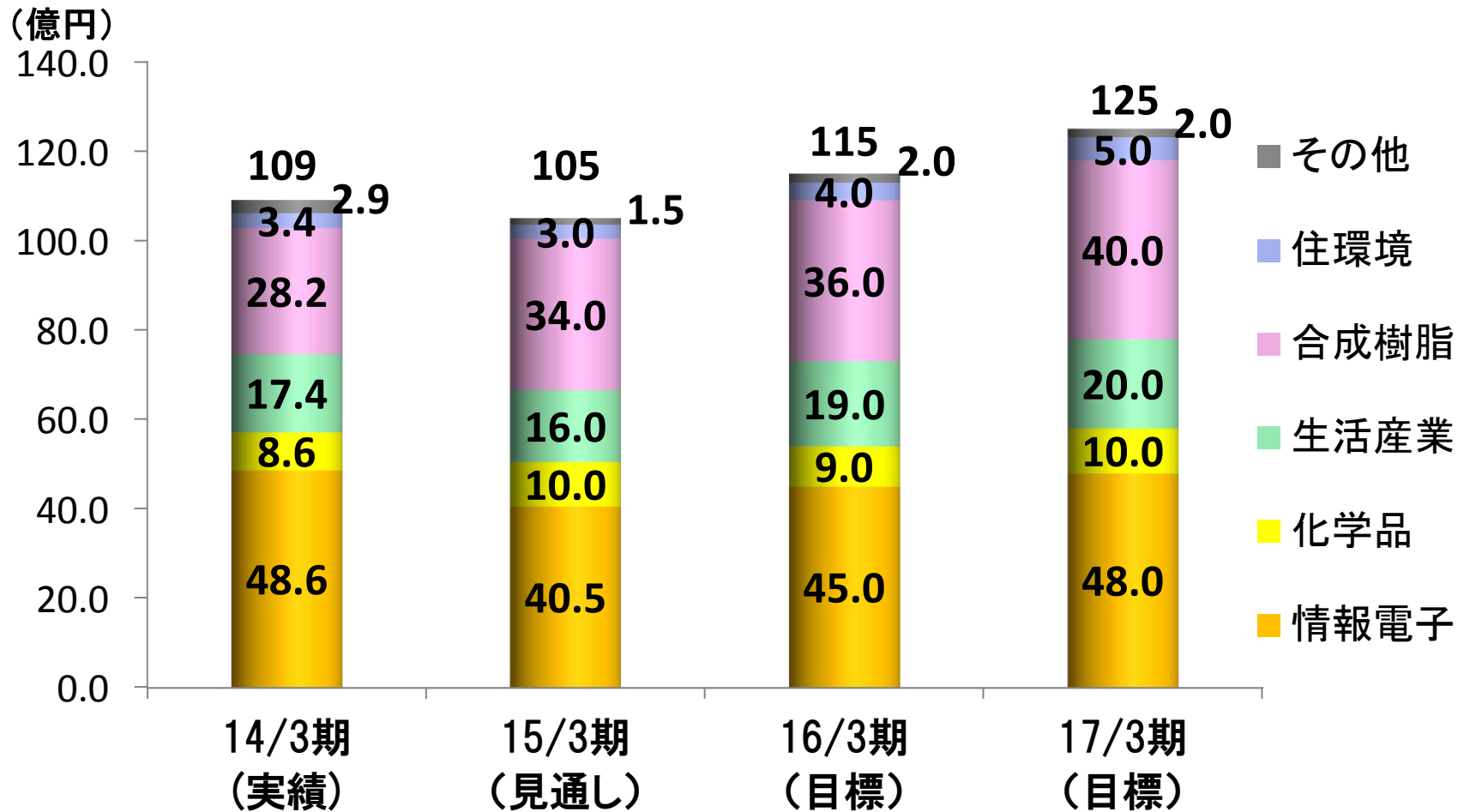
売上高



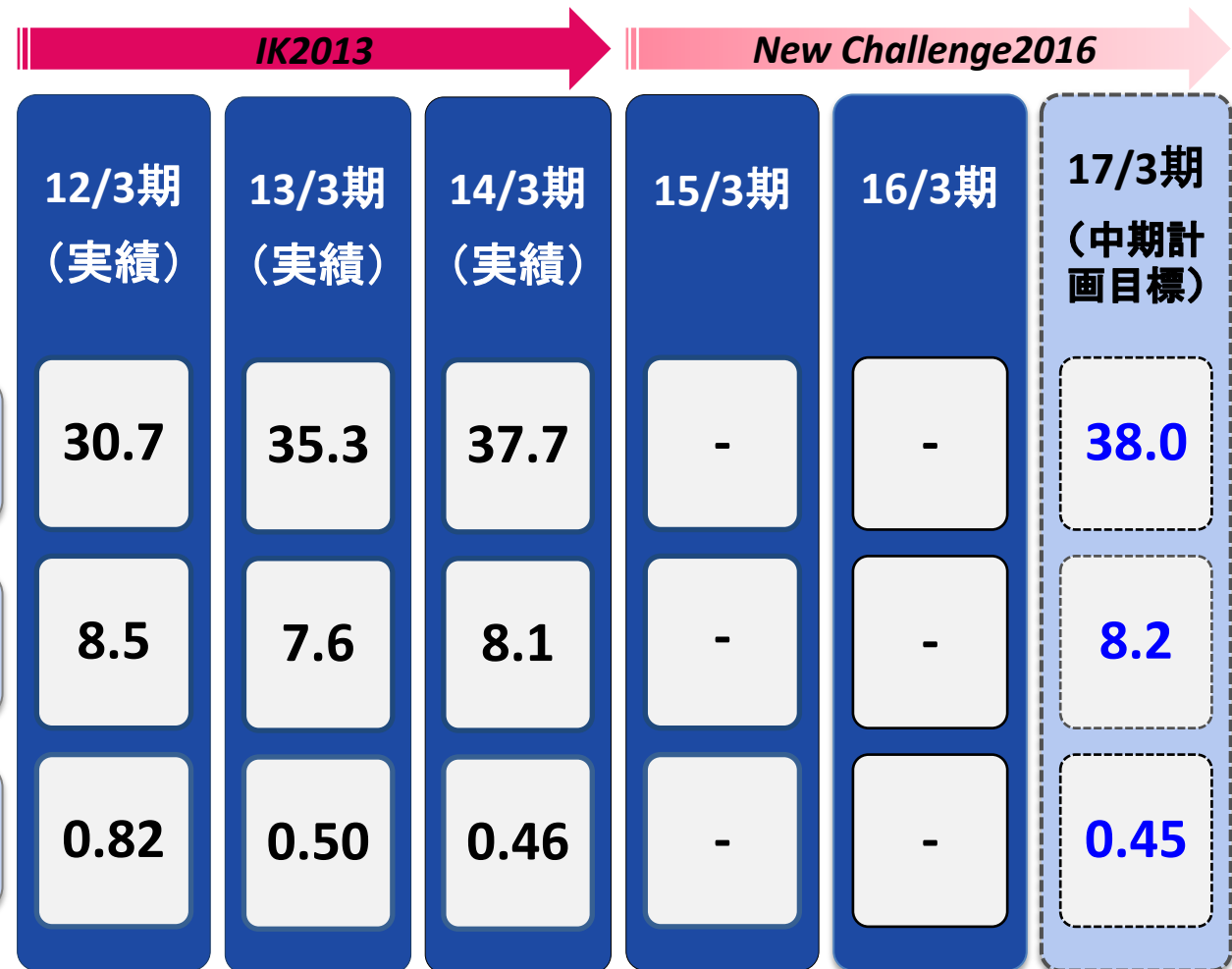
||| **New Challenge2016** →

(注)15/3期見通しは、2014年11月6日に公表した修正値。

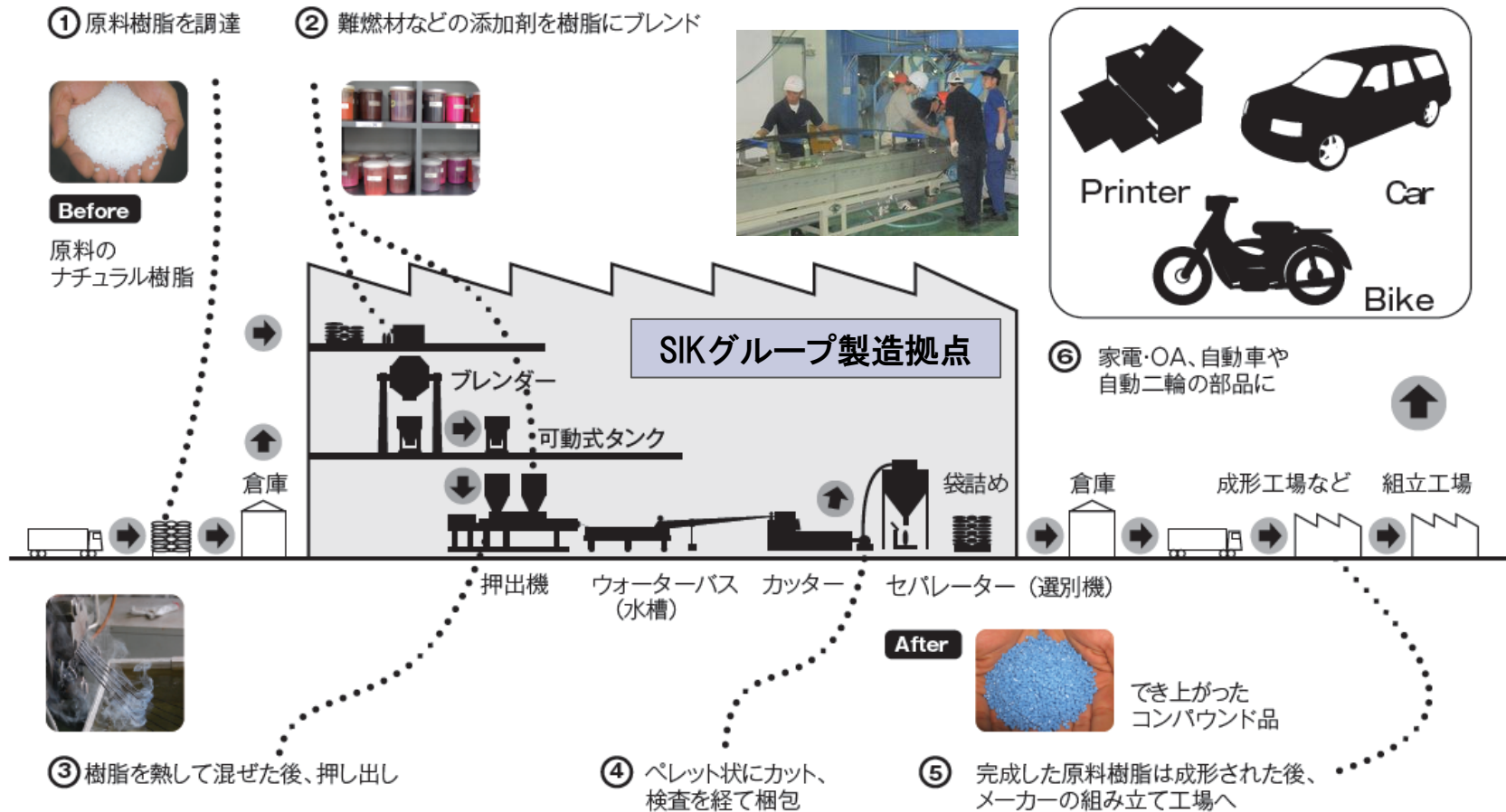
営業利益



(注)15/3期見通しは、2014年11月6日に公表した修正値。



樹脂コンパウンドの流れ



【参考】事業セグメントの概要

情報電子



ディスプレイ・ケミカル装置	液晶ディスプレイ(LCD)関連、LED関連業界への部材の供給および各種製造装置の取扱いを中心に、新規分野への展開も視野に高度な専門知識を活かした提案型ビジネスを展開。
映像・情報	複写機、プリンター業界のお客様にインクジェットやトナー原料、カートリッジなどの各種部材の販売、また専門知識を活かした幅広いサービスを提供。
エネルギー・エレクトロニクス材料・電子材料	半導体、LED、タッチパネル、太陽電池、二次電池、産業用フィルム業界等のお客様に、原料からプロセス材料、製造・検査装置、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供。

合成樹脂



成型材	塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤やポリオレフィン系、スチレン系樹脂などの汎用樹脂から各種コンパウンド、エラストマー、エンジニアリング・プラスチック、合成ゴムまで幅広い仕入ソースを背景にお客様のニーズ、シーズに合致した提案や製品展開に注力
高機能樹脂	エンブラ、スーパーエンブラ、特殊樹脂を中心に家電、OA、電子部品、自動車、建材分野のお客様に提案
産業材	ポリオレフィン原料、フィルム製品が中心で、原料メーカーとのタイアップや海外展開により充実したサービスを提供。環境対応商品、高機能商品の開発にも注力。
フィルム・機能材	コンバーター業界に対するフィルムビジネスをコアに、工業材料分野・自動車分野にも製品展開を行い、汎用・高機能オレフィンフィルム販売から食品・工業用向け最終製品までのコーディネートを提供
シート・成形材	PP,PS,PET樹脂などのシート類やその原反のみならず製品加工までと原料から製品までと一貫介在し、物流コストの効率化・コスト低減に寄与

化学品



スペシャリティケミカル	自動車部品から電子材料まで多岐にわたる業界に高機能化学品をグローバルに展開。
パフォーマンスケミカル	塗料、インキ業界向けを中心としたコーティング原材料と製紙関連薬品、接着剤原料および製品等、幅広い商品をタイムリーに提供。

住環境



住宅建材	住宅メーカー・建材メーカー向けパーティクルボード、木材、集成材、建材、プラスチック製品などの販売
環境資材	住宅設備機器メーカー向け・非住宅分野向けに原材料から半製品・製品までの販売

生活産業



ファーマケミカル	ヒューマンヘルスケアの様々なシーンにおける医薬原料の提供
環境・ファインケミカル	日用必需品の原料調達をグローバルにサポート。商品の企画から製品までトータルソリューションを提供
食品	安心・安全な水産物、農産物を世界中から提供

会社名	稲畑産業株式会社
創業	1890年10月1日
設立	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 稲畑 勝太郎
本社	大阪本社/大阪市中央区南船場 一丁目15番14号 東京本社/東京都中央区日本橋 本町二丁目8番2号
従業員数	599名〔連結3,586名〕
発行可能 株式総数	200,000,000株
発行済株 式の総数	63,499,227株

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
上場市場	東証一部
証券コード	8098
単元株式数	100株
株主数	4,557名
大株主の状 況(持株比率 上位3株主と 持株比率)	住友化学株式会社 22.0% 日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口) 4.9% JP MORGAN CHASE BANK 385093 4.1%

(注)当社保有の自己株式数(609,631株)については、持ち株比率の計算から除外しています。

(2014年9月30日現在)

□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 03-3639-6579 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。